



森岡聡子議員

学校規模適正化の 今後の見通しは

議員 新たに統合先として城見小学校が提案された。なぜ今になってか。今後のスケジュールの見通し等は。

教育長 話し合いの経緯と今後の城見小学校が適度な児童数の単式学級が続いていく可能性が高いため。スケジュールは当初の計画に変わりはない。

議員 陶山小学校の場合、廃校ではなく休校にすることについては。

教育長 30年度から変則複式が継続して発生する。児童数が増えていく状況があるとすれば、地元、行政の努力により休校の可能性もある。



地域包括ケアシステムでの 笠岡市民病院の役割は

議員 重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう地域包括ケアシステムの構築が目指されているが、中核病院となる笠岡市民病院の在宅医療支援では具体的に何をするのか。

市長 訪問診療、訪問介護、訪問リハビリテーション等の在宅医療支援を岡山県地域医療構想等との整合性を図りながら自治体病院の使命を推進してまいりたい。



妹尾博之議員

任期最終年度、市長 の熱い思いを聞く

議員 市長任期の集大成の年として市政運営に対する思いと対話形式による市民の意見収集の場を設ける予定についてたずねる。

市長 第6次笠岡市総合計画の総仕上げに全力で取り組むとともに、8月末を目標に笠岡市人口ビジョン及び笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定する。また、私が各地域にお伺いする形で懇談会を実施したい。懇談会を通じて市民の皆様の率直なご意見を聞かせていただきたい。

児童・生徒に対する対話は行なっていないが、今後は、子どもたちとの対話もしっかりと取り組んでまいりたい。



総合戦略会議
の様子

中身のある施策で、笠岡 市民に幸福感・安心感を

議員 地方創生総合戦略について、笠岡市は県内最速の8月に策定する予定だが、どのような施策を考えているのかたずねる。

市長 国の総合戦略に掲げる4つの基本目標に、笠岡市独自の基本目標である子供が健やかに育つ環境をつくるという項目を追加し、特に教育環境の充実を目指し取り組んでいく。

加えて、若者や女性が住みたいと思える施策等を新たに盛り込んでまいりたい。

高梁川圏域・備後圏域においても、笠岡市の立ち位置をしっかりと確保し、将来的に笠岡市民が幸せを享受できる状況をつくっていく必要がある。